

日本一の学びの環境は
日本一大きな町にある



北海道足寄高等学校

令和8年度 全日制課普通科 入学者募集パンフレット

スクールミッション

変化する社会に対応するため、幅広い知識と教養を身に付け、他者と協働して課題解決を図ろうとする生徒の育成

地域の高校として、地域の教育資源等を活用した教育活動を通じて、汎用性のある探究スキルを身に付け、地域の未来を切り拓く生徒の育成

「私の」足寄高校

青木克郎さん

令和3年度卒業生
(担任 鈴木淳一先生)

高校時代に学習と野球をどのように両立したか

私の高校時代の生活スケジュールは、6時に起床、7時に登校、野球部の朝練開始、8時30分～16時まで授業、そこから19時まで部活動を行い、終わり次第塾に行き、22時に帰宅するというものでした。土日祝日は町外の高校やグラウンドに赴き、練習試合や遠征を行っていました。以上からもお分かりのとおり私の高校生活はほぼ部活動一色に染まっていました。ただ、当時私は医学部への進学を目指していたということもあり、野球だけやっていれば良いという状況ではありませんでした。そのため、学校や塾の先生方に協力をしてもらい、勉強のサポートをしていただきました。この生徒と先生との距離が近く一人一人の希望に沿った支援をしていただけたという点が足高の良さであり、そのおかげもあって私は野球と勉強の両立を図ることができていました。

足寄高校野球部を志す中学生へメッセージ

今や背番号争いを繰り広げることができるほどに部員も増加し、北北海道大会出場というかねてからの夢であった快挙を成し遂げた足寄高校では、他校に劣らない高い水準で野球ができることと思います。また、人口6000人ほどしかない足寄の小規模校が、強敵である帯広の市内校を倒し勝ち進んでいくという、まるで漫画の主人公になったかのような口マンを味わえるのもこの足寄高校で野球をやる醍醐味の一つです。また、野球だけでなく勉強の方も学校と塾が連携して手厚いサポートをしていただけたので「野球もやりたいけど勉強も頑張りたい」という方でも心配することはないです。とても充実した3年間を送れることと思いますので、ぜひ、足寄高校への進学を検討してみてください。

小原望結さん

(令和4年度卒業)

高校生活は、特に部活動を頑張っていました。部活動に熱中するあまり、勉強が二の次になってしまうこともありましたが、3学年の進路活動は準備を早めに行うことができました。

現在は、札幌にある歯科の専



門学校に通っています。AO入試のため、5月後半までに準備を終わらせ、9月に特待生試験を受けました。無事に合格し、10月には進路を決定することができました。

高校生活を振り返ると、日頃から少しずつ勉強していれば…と少し後悔していますが、充実した日々を送ることが出来ました。振り返ると、1番時間に余裕があったなと感じています。

佐藤蓮さん

(令和5年度卒業)
(足寄町社会福祉協議会)

高校時代は3年間卓球部に所属していました。個人、団体では私自身の目標だった全道大会にも出場することが出来ました。学校生活では、委員会や学校行事に積極的に参加し、充実した3年間を過ごしました。

現在、私は介護施設に勤めています。主に身体介護、生活援助等を行っており、利用者の自立を支援し、日常生活の質の向上を図ることを目的として日々働いています。

中学生の皆さんには、高校生活の1日1日を大切に、全力で楽しんでほしいです。大人になってから、「ああしていればよかった」「こうしておけばよかった」と後悔する日が来るかもしれません。今できることを何か一つでも良いので全力で取り組んでください。足寄高校は皆さんの思いを支えてくれる素敵なおところです。



村岡倖さん

(令和6年度卒業)
幕別町役場に勤務

公務員試験の勉強は1年生の冬頃から始めました。自分で問題集に取り組むほか、公設民営塾でも模試の結果に応じて先生方が対策してくださり、効率よく勉強することができました。余裕をもって準備を進めたことで、本番の試験に自信をもって挑むことができたと思います。

説明会やインターンシップはこまめに案内を確認し、積極的に参加していました。後悔のない進路選択をするためにも、実際に職員の方と話したり職場の雰囲気を感じたりして、不安や疑問を解消しておくことが大切だと思います。

足寄高校は進路活動に関する支援だけではなく、学校祭やカナダ研修、見学旅行などの行事も充実しており、進路活動を頑張りがちながら充実した学校生活を送ることができました。



足寄町の9つの支援



通学費補助

- 公共交通機関の定期券購入代金の全額を補助
他の補助制度による補助分は除きますが、実質自己負担はありません。
- 自家用車の場合は月額2,000円
足寄町スクールバス片道利用や交通機関のバス停送迎を含みます。
- 補助期間は12か月ですので、夏休み・冬休み期間中も有効です。



下宿代補助

- 下宿代月額40,000円を限度に補助
- 通学費補助と同様に補助期間は12か月です。
親戚の家に下宿する場合も、契約書等があれば対象となります。



入学一時金

- 新入学時に70,000円を補助
- 入学後に支給されます。
- 制服、ジャージ、教科書購入等、使い道は問いません。



見学旅行一時金

- 見学旅行時に30,000円を補助
在学中1回限りで、見学旅行後に支給されます。



カナダ研修派遣補助

- 足寄高校第2学年希望者全員を「国際社会に対応できる人間性豊かな人材になってもらいたい」という思いを込め、足寄町の姉妹都市カナダ・アルバータ州ウェタスキウィン市に派遣します。交通費等の渡航費用の全額を補助します。例年9月～10月の6泊8日の日程で実施します。ホームステイを中心に、カナディアンロッキー、バンフ等の景勝地の視察も組み入れています。



検定、模試代全額補助

- 足寄高校振興会の支援により、模試・検定費用を助成することで、生徒の皆さんの進路希望実現を応援します。
- 夏・冬期講習、スタディーサプリ、各種検定・模擬試験費用の全額を補助
- 部活動遠征費等の助成



介護職員初任者研修
費用全額補助

- 足寄町福祉課の支援により介護職員初任者研修受講費用約10万円の全額を補助



給食無償提供

- 小中学校へ提供している学校給食を、希望する生徒へ無料で提供します。



公設民営塾通塾無料

- 足寄高校の生徒であれば無料で通うことができます。
- 生徒の進路希望や学力レベルに応じて個別指導を行い、学力向上を支援します。



足寄高校の充実した学習環境

学びの興味関心に応える多彩な選択。英語と数学では得意を伸ばし、苦手じっくり取り組むことができる習熟度別の授業展開。一人ひとりの進路希望をかなえる主体性をサポートします。

POINT1 一人ひとりの学びの意欲に応えるカリキュラム(令和6年度入学者教育課程)

共 通															
1 年	現代の 国語	言語 文化	歴史 総合	公共	数学Ⅰ	数学A	生物 基礎	体育	保健	音楽Ⅰ	英語 コミュニケーションⅠ	論理・ 表現Ⅰ	家庭 基礎	総合 探究	L H R
単位数	2	2	2	2	3	2	2	3	1	2	3	2	2	1	1

2 年	共 通										理科選択	選択	共 通
	論理 国語	古典 探究	地理 総合	数学Ⅱ	化学基礎	体育	保健	英語コ ミュニケーショ ンⅡ	情報Ⅰ	物理基礎	数学B	総 合 探 究	L H R
										地学基礎	簿記	音楽Ⅱ	
単位数	2	2	2	4	3	3	1	4	2	2	3	1	1

3 年	共 通					選択①	選択②	選択③	選択④	選択⑤	選択⑥	共 通	
	論理 国語	古典 探究	日本史 探究	体育	英語コ ミュニケーショ ンⅢ	生物研究	発展数学	論理・表現Ⅱ	近現代史	倫理	政治経済	総 合 探 究	L H R
						数学C	数学Ⅲ	物 理		化 学			
						保育基礎	フードデザイン	文学国語					
						簿記	生涯スポーツ	服飾手芸	演奏研究				
						単位数	2	2	3		2		

POINT2 高塾連携の学習サポート

足寄高と足寄塾は毎月定期的に担当者の会議を行い、足寄高生一人ひとりの学力向上と進路実現に最適なサポートのあり方を協議しています。学習の理解度や進捗状況は全校生徒が登録・利用している『スタディサプリ』で把握します。

高塾連携
実務者会議



ハイブリッド個別指導



情報共有と協議



スタディーサプリ
進路希望
定期的な塾訪問

POINT3 4つの力を引き出す『総合的な探究の時間』

小学校の調べ学習、中学校の「総合的な学習の時間」を経て、高校では自分で社会の課題や問題を見つけて解決していく『総合的な探究の時間』。1年生では地元足寄町の産業や足寄町による取り組みに問いを立てます。2年生ではカナダ・アルバータ州ウェタスキウィン市と足寄町の姉妹都市交流海外派遣研修でのフィールドワークも可能です。

卒業までに育成を目指す資質・能力

読解力・分析力

プレゼンテーション能力

コミュニケーション能力

課題解決能力



課題発見
問い立て



情報収集
調査



情報共有
協働



アウトプット
発表



議論
新たな課題
発見

探究を支える
学びの応援団

足寄町役場

足寄町教育委員会

足寄動物化石博物館

足寄町観光協会

十勝総合振興局農務課

九州大学北海道演習林

令和6年度進路別内訳

進学者・就職者内訳

大学	専門学校	民間就職	公務員	その他
26名	12名	10名	5名	2名

令和6年度 第3学年 進学合格者・就職内定者数

【延べ数】(3月22日現在)

<進学>

【4年制大学】

(国公立大学)

- 室蘭工業大学……………2名
- 釧路公立大学……………2名
- 北海道教育大学釧路校……………1名
- 札幌医科大学……………1名

(私立大学)

- 札幌国際大学……………3名
- 酪農学園大学……………1名
- 北海道文教大学……………1名
- 北海道武蔵女子大学……………1名
- 札幌大学……………4名
- 天使大学……………1名
- 北海道情報大学……………1名
- 札幌学院大学……………3名
- 北海学園大学……………4名
- 大手前大学……………1名
- 東京未来大学……………1名
- 日本赤十字北海道看護大学……………1名
- 北海道商科大学……………2名

(専門学校)

- 帯広コア専門学校……………1名
- 北海道美容専門学校……………1名
- 専門学校北海道
リハビリテーション大学校……………1名
- 北海道理容美容専門学校帯広校……………2名
- 札幌ビューティーアート専門学校……………1名
- 北海道ハイテクノロジー専門学校……………1名
- 札幌スポーツ&メディカル専門学校……………2名
- 大原法律公務員専門学校……………1名
- 北海道どうぶつ医療専門学校……………1名

<就職>

(公務員)

- 鹿追町職員……………1名
- 幕別町職員……………1名
- 足寄町職員……………2名
- とかち広域消防事務組合……………1名
- 北海道職員……………1名
- 北海道警察……………1名

(民間企業)

- 株式会社十勝大福本舗……………1名
- 株式会社グランベルホテル……………1名
- 社会福祉法人清水旭山学園……………1名
- オムロンフィールド
エンジニアリング北海道……………1名
- ヤンマーアグリジャパン株式会社……………1名
- ばんえい十勝……………1名
- 有限会社後藤組……………1名
- 株式会社たいせつ……………1名
- 株式会社藤森商会……………1名
- 佐々木畜産株式会社……………1名
- 株式会社登別グランドホテル……………1名

【短期大学】

- 帯広大谷短期大学……………1名

ほとんどの大学は、探究学習や課外活動の成果を活用して、「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」で合格を勝ち取りました!

生徒会行事の運営では、生徒会執行部役員を中心に全校生徒のリーダーシップ・フォロワーシップがいかに発揮されます。



学校行事

仲間との楽しい思い出が、
将来を生きる力になる



●入学式
●新入生歓迎会

●高体連地区大会
●生徒総会

●高体連全道大会
●高野連地区大会
●野球全校応援

●歓岳祭(学校祭)
●夏期講習

●インターンシップ

●体育大会
●カナダ研修派遣事業
●インターンシップ
●学校説明会

4-9
前期

4月

5月

6月

7月

8月

9月

●マラソン大会
●九州大学演習林実習 ●見学旅行

●冬期講習
●インターンシップ

●スキー授業

●卒業式

10-3
後期

10月

11月

12月

1月

2月

3月



部活動

野球部
弓道部
陸上競技部

バレーボール部
バドミントン部
バスケットボール部

卓球部
茶道部
演劇部

吹奏楽局
ボランティア局

部活動で躍動する

令和6年度 | 全国大会出場 弓道部
全道大会出場 卓球部 陸上競技部

令和5年度 | 北北海道大会出場 野球部
全道大会出場 弓道部 卓球部 陸上競技部





北海道足寄高等学校

〒089-3732

北海道足寄郡足寄町里見が丘5番地11

TEL 0156-25-4421

FAX 0156-25-2269

e-mail:ashoro-z1@hokkaido-c.ed.jp

<http://www.ashoro.hokkaido-c.ed.jp>



学校公式ホームページ

